



発熱・風邪症状がある患者さんのご紹介について 地域の医療機関さまへのお願い



現在当院では新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、**発熱・風邪症状がある患者さん（小児患者さんを含みます）**につきまして、専門の **発熱外来** を設け、場所・時間を分けた診察を行っております。そのため、事前連絡なしでご紹介患者さんが来院されますと、診療をお受けできない場合がございます。

地域の医療機関さまにはたいへんご不便をおかけいたしますが、**発熱・風邪症状がある患者さんをご紹介いただく場合には、受診日時の調整をさせていただきますので、事前に当院地域医療連携課または病院代表へお電話でご連絡をお願いいたします。**



2022 年度 地域医療連携課のご紹介

当院では地域の医療機関さまと地域医療連携を密にし、ホスピタリティをもって医療の質向上・患者サービスに努めております。

2022 年度 地域医療連携課 職員



課長代理（社会福祉士）	木島 貴宏
看護師長	角田 早苗
事務（主任）	長澤 佳子
事務（主任）	前田 武寛
事務	蜜澤 正美
社会福祉士（入退院支援センター担当）	高橋 純子

■ 業務時間 ■

平日 8:30 ~ 17:00
土曜日（第1・第3） 8:30 ~ 12:30

※なお、業務時間外は事務日当直担当者に転送されます

地域医療連携課は、地域の医療機関さまからのご予約対応、患者さんのお問い合わせや各種調整の窓口となっているほかに、紹介率および逆紹介率算出の統計管理、ご紹介元への返書管理、地域医療連携関連イベントの事務局などの関係業務を幅広く担当しております。また院内においても、医師をはじめ多職種と連携し、入退院支援が必要な患者さんのサポートも積極的に行っております。

今年度の地域医療連携課は、課長代理（社会福祉士）1名、看護師1名、社会福祉士1名、事務3名の6名体制です。地域医療連携の窓口として対応させていただきますので、お気軽にご連絡・ご相談ください。また所用で当院へご来院の際にも、ぜひお立ち寄りいただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

患者さんのご紹介等に関するお問い合わせ・ご要望は、地域医療連携課で承っております



北アルプス医療センターあづみ病院 地域医療連携課

TEL（直通）0261-61-1455 FAX（直通）0261-61-1456

E-mail renkei@azumi-ghp.jp

受付時間 平日 8時30分～17時00分 土曜日 8時30分～12時30分（診療日に限ります）

※ 受付時間を過ぎますと電話は夜間休日窓口へ転送されます

連携室だより

2022年8月発行 JA長野厚生連 北アルプス医療センターあづみ病院 〒399-8605 北安曇郡池田町大字池田 3207-1 編集発行/地域医療連携課 TEL 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456

連携室だより

北アルプス医療センターあづみ病院 理念

質の高い医療と社会への貢献をとし、地域の皆さまから信頼される病院を築きます。

CONTENTS

第59回あづみ病院地域連携懇話会

新任医師紹介

地域の医療機関さまへのお願い

2022年度地域医療連携課のご紹介



JA長野厚生連

北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

75
August 2022

第59回 地域連携懇話会

コロナ禍により昨年度開催を見送ってまいりましたあづみ病院地域連携懇話会ですが、今年度はオンライン中継により再開させていただく運びとなりました。関係者のみなさまにはご不便をおかけする点多々あるかと思いますが、今後とも何卒よろしくお願いいたします。



2022年7月7日 18:30 ~
あづみ病院より Zoom による web 中継

「高齢化社会における消化器外科医療の最適化に関して」

講師：北アルプス医療センターあづみ病院
外科部長 本山 博章 医師

2022年7月7日に第59回あづみ病院地域連携懇話会を開催いたしました。コロナ禍により昨年度は開催を見送ってまいりましたが、今年度はweb中継という新たなかたちで実施し、当日は院内外より48名の方にご参加いただきました。

講演は当院外科部長 本山 博章 医師 より「高齢化社会における消化器外科医療の最適化に関して」と題して、術中の動画提供も含めてお話しいただきました。

お話は当院外科における手術症例を疾患領域ごとに高齢者群と非高齢者群からみた治療成績を再評価し、改善点を抽出しているという報告でした。その一部をご紹介しますと、悪性疾患（結腸・直腸癌）に関しては、短期成績として術後合併症発生率に有意差は認めないものの、術後在院日数は高齢者群で有意に在院日数の延長がみられたというものでした。長期成績としては、無病生存期間が高齢者群では有意に悪化しており、おなじく高齢者群では術後補助化学療法施行率も有意に低値となっているとのことでした。周術期成績向上に関する改善点として3泊4日の術前リハビリテーションプログラムを取り入れていると紹介がありました。

急性腹症（急性胆炎）については、年齢による治療成績の差はなく、適応決定と術式選択は概ね適切と考えられるとのことでした。なお、良性疾患（鼠径ヘルニア）についても年齢の差による再発率はなく、現行の治療適応は踏襲可能であるとの報告でした。

講演後の参加者とのディスカッションでは、地域の先生より「術前リハビリテーションプログラムを行った成果を今後ぜひ報告して欲しい」とご意見も頂戴しました。また、高齢者であっても医療者側の配慮により安全な手術は可能であり、「高齢者だから」「精神疾患があるから」とはじめてから治療の限界を決めずに、まずは相談、診療を行ってから外科的治療の適否を検討する意義についても再考するきっかけとなりました。

高齢化が進む北アルプス地域にとって、とても興味深く具体的で参考になる講演でした。地域の先生方におかれましては、患者さんの年齢にとらわれず、まずは当院へご紹介いただければ幸いです。

次回もweb中継による開催を予定しています。関係者のみなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

（地域医療連携課 角田 早苗）



このたび当院にあらたに2名の医師が着任いたしました。

地域の医療に貢献できるよう、丁寧な診療をしてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



長汐 沙千穂
（ながしお さちほ）

歯科口腔外科
医長

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆ 日本大学（2005年3月卒）
- ◆ 日本口腔外科学会認定医、日本口腔外科学会4級
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
- ◆ 日本口腔外科学会、日本口腔外科学会
日本摂食嚥下リハビリテーション学会
日本口腔腫瘍学会

◆ 7月より勤務させていただいております。専門は口腔外科ですが、前職では飲み込みに不安のある方の診断や障がいをお持ちの方の歯科治療もさせていただいておりましたのでこちらでも体制が整いしだい受け入れていければと考えております。お口は体の入り口で健康の入り口でもあります。大北地域の皆様のお口の健康を守るお手伝いをさせていただければ幸いに存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



小田切 優也
（こたぎり ゆうや）

整形外科

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆ 佐賀大学（2017年3月卒）
- ◆ 日本整形外科学会
- ◆ 中部日本整形外科学会災害外科学会
- ◆ 日本骨折治療学会
- ◆ 日本小児整形外科学会

◆ 7月から赴任いたしました小田切優也です。診療科は整形外科で前年度までは外傷を中心に診療しておりました。雄大な北アルプスの山々を目の前にして少し憚られるのですが、趣味は海釣りです。ここ数年は行くことができていますが、前年の居住地より少し近づいたので、今年は時間ができれば日本海に足を延ばしたいと思っています。地域の皆様により良い医療を提供できますようさらに研鑽を積んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

